市民ネットワーク http://tokorozawa-net.com/ No. 93 (2019 年 11 月)

ところざわ通信 Net

発行：市民ネットワーク所沢
〒359-1141 所沢市小手指町4-17-48 光ビル 1F-B
TEL/FAX 04-2947-6370 メール: cnet-toko@net.email.ne.jp

所沢市民フェスティバルでパネル展示

プラスチックのゴミ問題を考える

充実した内容のパネル展示

10 月 26･27 日の二日間の市民フェスティバルで市民ネットワーク所沢は海洋プラスチックに関するパネル展示をしました。前日は一日中雨模様で心配しましたが、両日ともにお天気も良く、多くの人出に恵まれました。

今回は東京農工大の高田秀重教授から資料をお借りすることができたので、たいへん充実した内容の展示となりました。二日間で約 120 名の方が立ち寄ってくださいました。

興味を示してくれた人に偏りはそれほど感じられず、小学生から高齢の方まで男女問わず関心のある内容なのだということがうかがえました。

書いてもらったひとことメッセージには
"ポイ捨てやめよう" "水筒を持つ" "Reduce"
などの文字があり、まずは自分のできる事を皆さんがそれぞれ考えているという思いが伝わってきました。

今のままなら 30 年後、海の中のプラスチックゴミと魚の量が同じくらいになってしまうんですよ！という私達の補足説明に絶句していた小学生高学年の女の子が印象的でした。絶望ではなく希望を持てる未来の為にも私達にできることはまだまだあるのだと感じられる二日間でした。

プラスチッククイズ

①1 年間に生産されているペットボトル 227 億本の回収率は？
②世界の海を漂うプラスチックの数は？
③波や紫外線で細かくなったプラスチックを何というか？
④使い捨てプラスチックを減らす為の 3R で一番大切なことは？

それぞれ 3 択で出題しました。正解は展示パネルに書かれていて解説しながら答えてもらいました。(回答は裏面)

＝＝＝講座のご案内＝＝＝

「あなたが知らない プラスチックの行方」

私たちの日常に、深くかかわっているプラスチック。そのプラスチックによる生物への被害が報道されています。世界や日本の状況はどうなっているのかを知り、未来に向けて私たちができることは何かを考える講座です。

2019 年 12 月 8 日（日）14:00～16:00

場　所：市民ネットワーク所沢事務所
講　師：グリーンピース・ジャパンの方々
参加費：無料

市民ネットワーク所沢は、プラスチック問題に取り組んでいます！

7 月 13 日に市川房枝記念会女性と政治センター主催「使い捨てプラスチックと海洋汚染」に参加しました。
「日本で製造されたペットボトルの内 25 億本が回収されずどこかへ…。」「東京湾のムール貝の 100%からプラスチックが検出されている。」「プラスチックは、魚の体を通して人間にも蓄積され健康被害に繋がっているかも。」などなど、市民フェスでの発表ネタをどっさり受け取り、さらに講師である高田秀重先生（東京農工大学教授）に展示用パネルの借用のお約束までしていただきました。
誰も、「私は加害者ではない」とは言えない問題。そして、誰もが「被害者」になりうる問題。解決への道のりは遠く、地球規模の問題の大きさに、私一人が努力しても…と無力感に襲われることも事実ですが、できることからやらなければ、次代を担う人たちに顔向けができません。市民ネットでは、プラスチックに関する広報活動や講座開催に取り組んでいきます。

高田秀重先生…東京農工大学農学部環境資源科学科教授。理学博士。世界各地の海岸で拾ったマイクロプラスチックのモニタリングを行う市民による科学的活動「インターナショナル・ペレットウォッチ」を主宰。

クイズの回答…①88.8%　②5兆個　③マイクロプラスチック　④最も負荷が少ないのは Reduse（リデュース：削減）です。

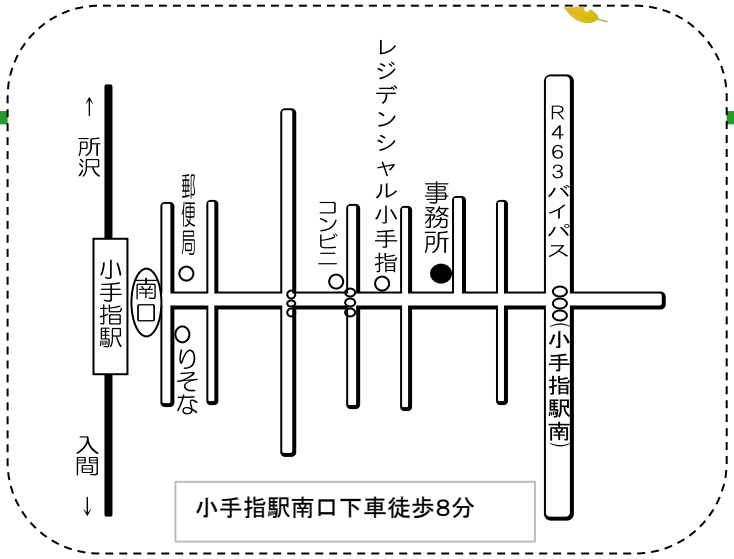
あとがき

ここ数年、毎年大きな災害が続き、特に今年はこれでもかと台風・豪雨の被害も広範囲で起きています。表面化されてない災害に会われた方々も沢山いらっしゃると思います。
二年前の 7 月帰省した日のことでした。私のふるさとも九州大豪雨で土砂崩れ、川の氾濫で鉄道の鉄橋が流される被害を受けました。幸い鉄橋は一年で掛け替えられ復旧しましたが今回の被害はもっと広範囲で被害も大きいです。一日でも早く元の生活に戻られることを願っています。

池田

【お問い合わせ・連絡先】
※事務所には常駐していません。
留守電・FAX でお願いします。

●住所　〒359-1141 所沢市小手指町 4 -17-48
光ビル 1F

●電話・FAX　04-2947-6370（事務所）
08-6805-2723(池田携帯)

●メール　cnet-toko@net.email.ne.jp